

wOoper

小学校の図工の授業での使用@東京学芸大学
生徒たちは、カラダ全体を使って突き板と格闘しました。バリバリ回ってみたい、思いっきり筆を走らせたり、指や手のひらを存分に使って色を刷り込んだり。木材の特性を素直に受け入れ、みんなでワイワイ楽しみながら作品をつくっていく姿が印象的です。



“あのようせい”



“木人の家”



“リネンダラ”

私たちは、薄い突き板が割れる・反るなど木材の性質を際著に現すと同時に光を通し綺麗な木目を表現することに注目し、実験的に小学校の図工の授業や大学のデザイン演習などの未来を担う子供達の教育の現場で使用してきました。

その経験を通して、未来工業製品の現場においてはネガティブであるはずの木材の性質が、現代生活において隠蔽されている「自然」と向き合う契機となることを実感しました。

wooper は、枳やスプルの厚さ 0.8mm の突き板 20 枚をパッケージしたものです。突き板という本物の「自然」を感じられる素晴らしい素材を一般家庭や教育の現場に提供することは、次世代の循環型社会実現への取組の一環と考えています。

wood + paper = wOoper



大学のデザインの演習での使用@近畿大学
入学したての1年生の演習課題「空へ」は、突き板を使って天に向かって美しいタワーを制作するものです。木材の美しさと力学的な性質の両方を考えながら自分の身体より遙かに大きいものをつくる経験が、次世代のデザインを生み出すきっかけになればと願っています。

